

第1回登別市総合計画第3期基本計画市民検討委員会（全体会議）会議録

- ◆開催月日：平成26年3月25日（火） 18時30分～20時15分
- ◆開催場所：登別市民会館中ホール
- ◆出席委員：33名
- ◆欠席委員：8名
- ◆事務局：小笠原市長、武田教育長、伊藤総務部長、沼田企画調整グループ総括主幹
菊地主査、大越主査、奥田主査、北村担当員、塚崎担当員、田中担当員
- ◆議題：（1）第3期基本計画の策定について
（2）市民検討委員会委員長及び副委員長の選任について
（3）市民検討委員会部会の部会長及び副部会長の選任について

《登別市総合計画第3期基本計画市民検討委員会委員委嘱状交付式》

～市長から委嘱状交付～

《市長あいさつ～概要～》

- ◆今、委員の皆様には委嘱状をお渡しさせていただきましたが、時節柄何かとお忙しい中、登別市総合計画第3期基本計画の市民検討委員会の委員をお引き受けいただきましたことに深く感謝申し上げます。
また、日頃より、登別市のまちづくりのためにご尽力いただいておりますことに敬意を表します。
- ◆委員の皆様には、これから約1年間、登別市の今後のまちづくりについてお話し合いをしていただくこととなりますけれども、委員の皆様におかれましては、大変お忙しいとは思いますが、可能な限り会議には出席していただきますようお願い申し上げます。
- ◆委員会には、登別市総合計画基本構想に基づく、分野別の6つの部会を設置いたしますが、庁内においても市民と同様に検討委員会と部会を設置しております。
そして、市民検討委員会の各部会には、その部会と対をなす庁内の部会の部会長及び副部会長が出席することとなっていますので、委員の皆様と市職員が対等な立場で意見を交えていただければと思っております。
- ◆また、委員になられた皆様をお願いしたいことがあるのですが、各部会で出された意見や会議の内容について、皆さんが所属している団体等に持ち帰っていただき、団体内部でも情報共有を図るとともに意見集約を行い、部会へフィードバックしていただきたい。そうすることによって、さらに幅広い方の思いなども第3期基本計画に反映できるものと考えていますので、是非、これは行っていただきますようお願いいたします。
- ◆これから、皆様と一緒に第3期基本計画を策定していくわけですが、検討を進める上での素材として、今般、地区懇談会においてお示しした、いわゆる「市長私案」を参考資料の一つとして配布しております。
これは、地域において自らの地域の将来の姿について活発な意見交換をしていただくた

めの素材の一つとして、まちづくりを進める中で考えられる可能性を広範にお示しし、市民の皆さんとともに将来のまちのあるべき姿を実現していきたいという思いのもとお示したものであり、事業決定をしたものではありません。

今回お示した案は、地区懇談会をはじめ、市民の方などから様々な機会を通じて複数年の間にいただいたご意見やアイデアの一部のほか、私の考えるまちづくりの可能性と思いの一端をお示したものであり、まちづくりを進めるにあたり、議論の活性化を促すきっかけとしていただきたいと思います。

◆最後になりますが、これから皆様の貴重なお時間を、長期にわたって第3期基本計画の策定に注いでいただくにあたり、大きな負担をかけることとなりますが、皆様がこれまで培ってきた経験と知識を活かしていただきながら、第3期基本計画の策定に邁進されますことと、これからの登別市のまちづくりの指針となる第3期基本計画が素晴らしいものになることを期待して私からのあいさつとさせていただきます。

《第1回登別市総合計画第3期基本計画市民検討委員会及び部会》

第3期基本計画の策定について

<事務局>

◆資料の修正報告

「市民検討委員会委員一覧」のうち、登別市交通安全協会から「草塩忠幸 様」が委員として参画されるご予定だったが、都合により「和泉 薫 様」に変更となった。

また、登別市民環づくり市民委員会からご推薦いただいた方につきましては、都合により委員を辞する旨連絡がございましたので、再度推薦者を確認しているところであります。

◆事務局からの各委員への説明

会議は、議事録作成のために録音させていただいておりますので、質問等の発言の前には、「〇〇部会の〇〇です」と自分のお名前を言われた後に発言していただきたい。

◆議題（1）「第3期基本計画の策定について」

平成8年に登別のおおよそ50年後を想定して未来に思いをはせ、あるべきまちの姿を思い描き、その実現に向かうための羅針盤として策定した「登別市総合計画基本構想」と「基本構想」を実現するための10年間を単位とした「基本計画」について説明した。

◆第3期基本計画策定の基本的な考え方等の説明

- ・基本構想に基づき、6章立ての計画とすることから、部会についても6部会としている。
- ・部会は、第3期基本計画の体系図案について協議する。また、体系図案は現在作成中のため、2回目の委員会及び部会の開催時にお示しする予定である。
- ・各部会開催時には、庁内検討委員会部会の部会長及び副部会長が出席する。
- ・各部会員には、部会で協議している内容について、所属団体等へ持ち帰り、団体内部でも情報を共有するとともに、次世代を担う若手の方などからも意見集約を行い、部会へフィードバックしていただきたい。
- ・議事録は事務局で作成し、各部会長の承認をいただいた後、各部会員へ郵送するとともに、市ホームページで公表する。また、公表する際は、発言者の氏名は非公表とする。

- ・部会では、次の部会の開催日時、場所を決めてもらうこととなるが、次回も合同開催のため、今回は決めない。
- ・開催時間は日中でも夕方でも可。
- ・開催場所は、基本的には市役所内が望ましいが、それ以外であれば市民活動センターの利用も可能である。
- ・次回の部会の開催日時及び場所については、様式を作成するので、それをもって、各部会を担当する事務局職員が調整し、各部会員へ連絡する。

第3期基本計画の策定にあたっては、お手元に配布した「第2期基本計画」、「第2期基本計画仮総括」、「基本構想」、「まちづくり意識調査結果報告書」、「中期財政見通し」、「大型事業推進プラン」、「公共施設整備のあり方」、「『アイデア資料』である「地域とともに描くまちづくり」、「各地区連合町内会からの要望概要」、「全国大学政策フォーラム報告書」を検討における参考資料として、ご協議いただきたい。

なお、皆さんに協議していただく「第3期基本計画体系図（案）」については、次回の会議でお示しする予定であり、本日は概略について簡単に説明する。

◆第3期基本計画体系図（案）を検討する上でのポイント

第3期基本計画体系図（案）は、基本的に第2期基本計画の体系図をベースとしている。

また、第2期基本計画策定から現時点において変化している社会情勢や財政状況等を踏まえ、10年先の当市のあり方を見据えた内容とするため、庁内において第2期基本計画体系図の見直しを行い、その内容を反映したものとなっている。

委員の皆様には、後日お示しする第3期基本計画体系図（案）について、第3期基本計画期間に取り組むべきもの、盛り込むべきものを各部会において検討していただき、その内容を、それぞれの部会に配属している市職員が庁内へ持ち帰り、検討した結果について市民検討委員会部会の皆様へフィードバックしたいと考えています。

なお、複数の部会での協議が必要と思われる内容につきましては、部会間において日程調整をはかる必要がございますので、事務局までご相談ください。

また、市の担当部局の話しを直接聞きたい場合や他の団体の活動について話を聞きたい場合などは調整をさせていただきたいと思いますので、事務局にご相談いただきたい。

◆会議の進め方について

- ・委員会・部会の目的を明確にする。
- ・会議で発言する際は、登別市全体を考えて発言する。
- ・「会議には出席する」ことが基本です。
- ・発言は「短く、要点をまとめて」「人の意見を聞く」「人の意見を否定しない」。
- ・会議の終了時間を意識する。
- ・自分の発言に責任を持ちましょう。

市民検討委員会委員長及び副委員長の選任について

<事務局>

～委員長の選任方法について、互選により行う旨を説明～

<委員>

◆仲川委員を推薦。

<事務局>

◆仲川委員を推薦する声がありましたが、他に自薦他薦はございませんか。
なければ、仲川委員に委員長をお願いすることでよろしいでしょうか。

<各委員>

◆異議なし。

<事務局>

◆それでは、仲川委員お願いします。

<事務局>

～副委員長の選任方法について、互選により行う旨を説明したが、自薦他薦がなかったため、仲川委員長から2名推薦していただく～

<委員長>

◆山田委員と合田委員を推薦します。

<事務局>

◆山田委員と合田委員に副委員長をお願いすることでよろしいでしょうか。

<各委員>

◆異議なし。

<事務局>

◆それでは、山田委員、合田委員お願いします。

～委員長及び副委員長が決定したことから、委員長及び副委員長から一言ずつあいさつをいただき、ここからの議事進行を仲川委員長にお願いします～

市民検討委員会部会の部会長及び副部会長の選任について

<委員長>

◆それでは、これから各部会において、部会長及び副部会長を選任してください。
選任の方法については、部会員の互選により行ってください。

～事務局職員が各部会の司会進行を行い、部会長及び副部会長を選任し、仲川委員長に報告～

<委員長>

◆各部会の部会長及び副部会長が決まりましたので報告します。
□ぬくもり部会 部会長 雨洗委員 副部会長 田淵委員

□防災・環境部会	部会長	江口委員	副部会長	川島委員
□産業躍動部会	部会長	高橋委員	副部会長	小川委員
□都市調和部会	部会長	長部委員	副部会長	西尾委員
□育み部会	部会長	安宅委員	副部会長	川村委員
□まちづくり部会	部会長	中原委員	副部会長	渡部委員

◆本日の議題は以上となりますが、これから策定する基本計画について、事務局から各種資料が配付され、説明を受けましたが、委員の皆さんから何かこういった資料があればいいですか要望はありませんか。

<委員>

◆基本計画は、各種個別計画や条例の最上位計画と認識していますが、登別市ぬくもりある福祉基本条例や登別市男女共同参画基本計画、登別市地域福祉計画など、第3期基本計画が始まる前に既に出来上がっている条例や計画もあります。

これから策定する第3期基本計画と、これらの計画等とは整合性が図られていなければならぬと思いますが、どのように整合性を図っていくのかお聞きしたい。

<事務局>

◆委員のおっしゃるとおり、基本計画は市における最上位計画となるものであり、基本計画に基づき各種個別計画等が作られます。

各種個別計画等につきましては、すべてが基本計画の計画期間と一致しているものではありませんので、これから策定する第3期基本計画よりも前に策定され、計画期間中にも推進される計画等や、逆に基本計画の期間中に更新又は新たに策定する計画等も考えられ、基本計画の計画期間とずれが生じることが想定されますが、当市におけるまちづくりの基本的な方向性については、これまでと大きく変わることは考えにくいと思いますので、既に策定されている各種個別計画については、第3期基本計画で掲げるまちづくりの方向性と極端にずれた計画が出来上がっているということはありません。

ただし、皆様で協議いただいた結果によっては修正する可能性もあるものと考えています。

<委員>

◆今後の登別市の10年間を考える上で、全国的にも問題となっている急速な少子高齢化について踏まえる必要があると思いますが、市としてはどのように捉えて第3期基本計画に反映させるのか、また情報提供していただけるのか、お聞きしたい。

<事務局>

◆国立社会保障・人口問題研究所における人口推計（平成25年3月推計）では、当市の人口は今後も減少傾向にあると公表されております。

この、国立社会保障・人口問題研究所における人口推計を基に、当市の現状に即した独自の人口推計を行ったところ、平成37年には約4万6千人まで減少する見込みであるとともに、高齢人口が全体に占める割合は増加していく結果となりました。

しかし、さきほど、委員の質問にもお答えしましたが、今後10年間で人口が4～5千人ほど減少したとしても、当市におけるまちづくりの基本的な方向性は変わりませんので、基本的には第2期基本計画を踏襲しながらも、現実的な社会情勢の変化などを踏

まえながら、まちづくりを進めていきたいと考えております。

なお、人口推計については、資料として後日提供させていただきます。

<委員長>

◆そのほか、事務局から何かありませんか。

<事務局>

◆次回の部会開催時期ですが、第3期基本計画体系図（案）の作成後、庁内検討委員会において、庁内及び市民検討委員会の各部会で協議することの承認を得た後となるため、2回目の部会の開催は4月に入ってからと考えておりますので、後日ご案内させていただきます。

また、市長からもお話がありましたが、各部会は月に2回程度の開催をお願いしたいと考えており、第3期基本計画策定までの期間、委員の皆様の貴重なお時間を頂戴することとなりますが、ご協力よろしく申し上げます。

<委員長>

◆全体を通して、ご質問、ご意見等ございませんか。

以上で第1回登別市総合計画第3期基本計画市民検討委員会及び部会を閉会します。